

## 秋季関東学生卓球リーグ戦見どころ（女子）



関東学生卓球連盟副理事長 池田 由美子

H20年、春季関東学生卓球リーグ戦より1部8校制と生まれ変わり、学生達は益々、代々木第2体育館でできる厳しさを実感し、日々練習に励んできたと思います。

さて、9月6日からスタートをきった今大会(1部～6部)も見どころ豊富です。女子1部では、早稲田大学と獲得タイトルの多い淑徳大学の上位争いは間違いなく、好試合が期待できます。これに続く他大学も春季リーグ戦、インカレでの敗戦の反省を活かし、勝負強さと安定性をもって熱戦を繰り広げることと思います。では、各大学のエースを紹介しましょう。無駄がなく頭脳プレーの照井(早稲田大学)、チャンスを作り決定打で仕留める小野(淑徳大学)、破壊力のフォアハンドを持つリュウ(東京富士大学)、微妙な変化と攻撃で日韓交流シングルスに優勝した野上(中央大学)、異質ラバーからタイミングの早い両ハンド攻撃を持つ杉本(専修大学)、ピッチの速さでは負けない井上(大正大学)、打球コースの厳しい李(日本体育大学)、凡ミスが少なくチームを1部昇格に導いた大庭(日本大学)等の力がチームの鍵となります。

また、カットマンでは石垣(淑徳大学)、亀崎(早稲田大学)、岡野(中央大学)、平澤(東京富士大学)、津田(日本体育大学)の試合も見どころで、粘り強いカットからの攻撃は、会場を盛り上げることと思います。

皆様も、学生らしいパワフルなプレーに、どうぞご声援をかけにいらして下さい。